



すぎなみ

# 教育報

第166号  
平成14年9月20日  
発行 杉並区教育委員会  
杉並区阿佐谷南1-15-1  
☎ 3312-2111 FAX 5307-0692  
区公式ホームページ  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

学生のかで学校がますます元気に

## 学生ボランティアが スタートします

今年の9月から、区立小・中学校及び養護学校で、授業や部活動の支援を行う学生ボランティアの活動が始まりました。今号では杉森中学校でプール指導のお手伝いをされている清家さんと佐藤さん、お二人の大学生にお話を伺いました。



お二人は車椅子で授業を受けている生徒の水泳時のサポートを行っています。授業前後の着がえ、プールまでの移動をはじめ、水の中では肘を支えて生徒といっしょに歩くなどの活動をしています。はじめの頃は何をすればいいかわからず、戸惑うことも多かったそうです。「話しかけないで、待ってなさい!」と担当の先生に注意されたこともありました。「事前の打ち合わせをしっかりと行うことが大切だと思います。」これがボランティア活動をうまく進める秘訣のようです。

今では生徒や先生ともすっかり溶け込んで、この活動を楽しんで行っています。

「たくさんの生徒さんとお話してみたいですね。」と笑顔でこたえてくれた、積極的なお二人でした。

### あなたも学校で活動してみませんか?

杉並区教育委員会では、区立小・中学校及び養護学校で授業の補助や部活動の支援など、学校での様々な活動の補助を行っていただける学生ボランティアを大募集しています。

特にコンピュータ教育の技術指導補助や算数・数学の指導の補助の方を急募しています。  
問い合わせ先：指導室

杉森中には学校開放でバレーボールに行っていたんですよ。もともと何か教えたりするのも好きですし、母親が小学校の教員をしているので、「先生は大変だ」とよく聞かされました。

申し込み方法は区のホームページでもご覧になれます

ダウンロード  
申込書等配信サービス

子供・教員

学生ボランティア

学生ボランティア登録カード

大学のボランティア講座を受講してもっと体験してみたくになりました。小学校の教員志望ですし、いろいろな子どもたちとふれあう機会を持ちたいですね。



清家 未寿貴さん  
せいけ みずき



佐藤 知佳さん  
さとう ちか



# 区立小学校のよいところ、伝えます

## 「Suginami区立小学校ガイド2002年版」を作成したお二人にインタビュー

今年3月に杉並区立の小学校の活動や特徴をまとめた「Suginami区立小学校ガイド2002年版」を保護者の立場から編集し、発行した対馬さん、小杉さんにお話を伺いました。

### 保護者の視点で

4年前から子育てマップ、幼稚園ガイドを手がけてきた対馬さんと小杉さん。「自分たちの子どもも小学生になる時期でしたので、小学校についても調べてみたいと思いました。」とお二人は当時のことを振り返ります。

公立小学校にはそれぞれよい点があり、どうしてもっとアピールしないのだろうという思いもあり、13年度から小学校ガイドの作成をはじめ、14年3月に完成させました。

作成にあたっては、お二人が自分たちの足で各小学校を訪ね、校長先生や教頭先生からお話を伺ったり、校舎を見てまわったりしたそうです。区立小学校は地域とのつながりも深いこと、それによって学校それぞれの特徴があることをお二人は発見しました。そして、明るく元気に過ごす子どもたちの姿は、どの学校でも共通していました。

こうしてできあがった「Suginami区立小学校ガイド2002年版」は保護者の視点を大事にしながらかつられたものとなりました。



「Suginami区立小学校ガイド2002年版」についてのお問い合わせは直接「プランニング遊」まで  
Eメールアドレス planningyou@aol.com

### 自分の目で学校の現状を確かめて

「Suginami区立小学校ガイド2002年版」を読んだ方からの反応をお二人に伺いました。「ガイドを読んで、情報と安心をもらいました。学校をもっと知りたいと思いました。」「学校の特徴や活動を知ることができ、一段と入学が楽しみになりました。」などたくさんの感想が寄せられています。

「ぜひ、自分の目で学校を見てください。」これがお二人から保護者のみなさんへのメッセージです。「この冊子が小学校に足を運ぶきっかけになってくれれば・・・。」そんなお二人の気持ちが「Suginami区立小学校ガイド2002年版」にはたくさん詰まっています。

### インターネットで図書・雑誌の予約申込ができるようになります

平成14年10月1日午前9時から杉並区立図書館ホームページで図書・雑誌の予約申込ができます。

ホームページから予約を行うには、杉並区立図書館の利用者カードとパスワードが必要です。パスワードの取得については9月20日より各図書館で申請された方に仮パスワードを発行します。(仮パスワードでは予約システムはご利用できません。仮パスワードを受けた方は、インターネットにより本パスワードの登録を行い、予約システムがご利用いただけるようになります。)

予約可能時間は、蔵書検索システムと同様24時間です。

予約できない資料は、図書館が所蔵していないもの、所蔵していても貸出禁止のものや視聴覚資料です。

詳細は、9月11日号の「広報すぎなみ」をご覧ください。

杉並区立図書館ホームページアドレス

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

## 杉並区中学生海外派遣団、オーストラリアで友情をばらまいた

# NICE TO MEET YOU!



たくさんの友だちができました。みんなでピース!

8月1日、杉並区在住の中学2、3年生30名がオーストラリアの海外派遣生として旅立ちました。オーストラリアのウィロビー市(杉並区の友好都市)での体験入学、ホームステイ、現地の人々との交流会を行い、杉並区とウィロビー市の親睦を深めました。

派遣生はウィロビー市との交流に向けて、事前学習を重ねてきました。オーストラリアの人々とより円滑なコミュニケーションを図るため、基本的な英会話も学習しました。また、交流会で日本のことをできるだけ伝えたいという思いから、猛暑の中、「南中ソーラン」を一生懸命練習しました。

生徒たちは様々な目標を自分で設定し、海外派遣の中で達成できるようチャレンジしたとのこと。「たくさんの人と触れ合いたい。」「積極的に英語で話したい。」多くの中学生が心に決めた目標です。

そして、ホストファミリーや体験入学先の学校の人々のあたたかさ支えられ、実践することができました。

仲良くなったオーストラリアの友達とお別れ会では涙を見せる子や、しっかり握手をし、再会を約束している子の姿が見られました。

10日間の海外派遣を終えた30名の中学生は、オーストラリアで培った自信とたくさんの思い出をお土産に無事帰国しました。

### 教育委員会の ISO 14001 認証取得に向けて⑤

杉並区立の、小・中学校や図書館、体育館など教育機関は、ISO14001認証取得をめざし、具体的な活動を開始します。区立の教育機関がこういった目標に基づき、どう行動していくのかを表す「環境方針」、「環境目標」を広く区民の皆様にも公表し、10月1日から実施していきます。

「環境目標」には、電気、ガス、水道の使用量削減など省エネルギーの観点からの具体的な数値を示し、1年ごとにその削減幅を増やしていきます。また、授業での子どもたちへの環境教育の実施や、社会教育分野での環境関連講座の開催など活動の実施例も明記しています。教育機関が区や市とは別に認証を取得しようという取り組みは、全国でも初めてのものです。

杉並区立教育機関が掲げる「環境方針」は次のとおりです。

#### 杉並区立教育機関環境方針

オゾン層の破壊や温暖化など、地球規模の環境破壊はますます深刻になっています。また、みどりなどのやすらぎ環境も年々減少しています。

わたしたちの未来、子どもたちの将来のために、いのちと健康を支える豊かな環境を、みんなで力を合わせて身近なことから守っていく必要があります。

そこで杉並区立の教育機関は、次のことを重点項目として、環境保護の活動を行っていくことといたしました。

- 1 学校の授業や行事、社会教育の講座など、さまざまな場面で、たくさんの方が環境を守ることに気づき、環境を守ろうとする心が育っていくことを目指します。
- 2 教育施設のみどりを増やします。生き物とふれあうことのできる場として、自然環境を大事にする気持ちへつながらせることを目指します。
- 3 電気、ガス、水の節約などエネルギーや、紙などの資源を大切にします。レジ袋を使用しないことや、リサイクル活動などで、ごみを減らします。
- 4 環境についての法律や規則などに従い、環境汚染の予防に努めます。
- 5 リサイクル材料による物品の購入など、教育機関の施設運営が環境保護に結びつくものとなるように努力します。
- 6 環境保護の活動が、児童・生徒、保護者や、社会教育事業への参加者をとおして、より大きく地域へと広がっていくように努めます。

これらの重点項目には、達成状況などの目標を定めます。その内容を定期的に見直し、継続的によりよいものに改めます。

この環境方針は文書にして、教育機関の全ての職員に知らせるとともに、どなたにもご覧いただけるものにいたします。

### よりよい学校をめざして

### 「学校評価指標」を作成中です



済美教育研究所では、「学校評価指標」の作成を進めています。この指標を使い行うアンケートは、杉並区の学校が保護者や地域住民の信頼にこたえ、教育活動の質的向上を図るための重要な一つの方法と考えています。各学校が教育活動を発信し、経営責任を明らかにするとともに、外部の方に「学校評価」をお願いし、それを内部である教職員の評価と関連させて、成果及び課題を把握することを目的としています。

指標を使って実施するアンケートに答えていただく対象者は、区立小学校高学年の児童、区立中学校生徒、区立小・中学校教員、保護者、学校評議員の方々です。小学校の指標の例では「いじめや仲間はずれがないように、友だちと仲よく生活していますか？」などがあります。学校での児童・生徒の様子に関するもののほか、学校運営、学校の施設・設備などの6つの領域に分類し、それぞれの領域内に詳しい項目を設定しています。

妥当性や正確性を期すため、事前に指標を使った試験的調査を行い、本年度末には各学校で実施できるように検討を進めていきます。

### 教育委員からの発信

#### 海を渡ってきた青い目の人形

教育委員長職務代理者

宮坂 公夫

大正の中頃、野口雨情、本居長世により童謡「青い目の人形」が作られ、子供たちの間に広く歌われました。

青い目をしたお人形は

アメリカ生まれのセルロイド

日本の港へついたらとき

一杯涙をつかべてた

この歌を聞いた一人のアメリカ人が、当時重苦しい雰囲気であった日米両国の友好をとり戻す事ができないだろうかと考えました。

昭和二年、当時の日本は第一次世界大戦後の反動恐慌や関東大震災などによる経済不況のため、混乱のさなかにありました。一方、アメリカも同じく、当時の経済不安の中で多くの失業者をかかえており、このため低賃金でもよく働き、しかも有能な日本人移民労働者への反感、人種的な蔑視、さらに文化的な偏見も加わり、排日移民法のもと日本人移民への迫害が見られました。

このような両国の不幸な現状に心を痛めた親日家の牧師シンドニールイスギューリック博士は、アメリカの本当の心を日本に伝えるため、約一万二千体の青い目の人形を親善使節として、日本の子供たちに贈ってきました。

ギューリック博士は平和の大切さを伝える使節として、政府の高官ではなく青い目の人形に、そして語りかける相手は日本の高官ではなく日本の子供たちに、との思いがあったのでしよう。この人形は日本で大歓迎されました。当時の文部省はこの人形を全国の小学校、幼稚園に配分し、各地で盛大な歓迎会が開かれたようです。

しかし、人形の努力もむなしく両国の関係は次第に悪化し、その後不幸な結末を迎えることとなりました。それにつれ人形の運命もまた、あるものは戦災で焼失し、あるものは混乱のさなかに散逸し、また部分的には敵性人形として破壊されることもあったようです。

時代は変わり、昭和六十一年ギューリック三世（ギューリック博士の孫、メリーランド大学教授）は来日した折、祖父の贈った人形の運命を尋ねたことから全国的にその存在を調査することになり、その結果現在二五二体が確認されているそうです。

また、人形には本来それぞれに名前もあり、パスポート、さらに汽車の片道キップまで持参していたのですが、永い年月の間に杉並区の幼稚園がいたいたものは紛失してしまい、この事を申し上げるとギューリック先生は、人形に「レノア」という名前と新しいパスポートを作って下さいました。今も、遊戯室の一角に頂いた時に持参した古いカバンとともに飾られております。



青い目の人形が杉並区の幼稚園にきてから七十数年が過ぎました。この間、日本とアメリカ両国の間には悲しいできごともありましたが、今は人形の心に添える友好国としてさまざまな分野で交流が行われております。

人種を越えて多くの国々との友情の心を育むためには、幼少期よりの教育が大切でしょう。教育は教えるだけでなく、育てる心に基づいてほしいと思えます。特に、幼稚園、小・中学校、少なくとも義務教育の期間は人間として、社会人として生きていくうえで、人としての感性を育むことは忘れてはならない大事なことと思えます。友情の大切さを、平和の尊さを、ギューリック博士はもの言わぬ人形に託し、その心を日本の子供たちに伝えたいのでしよう。

#### ご意見をお待ちしています

「教育委員からの発信」をお読みになつた方からのご意見を募集いたします。

「ご意見」は郵送、または区のホームページで受け付けます。

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1 15 1  
ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>  
杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員への意見」あて

# わたしたちの先生自慢

## 音楽の楽しさを伝えたい

杉並第三小学校 保坂 美津代 先生

杉並区で活躍されている先生を紹介する「わたしたちの先生自慢」。杉並第三小学校では、お琴や和太鼓などを取り入れた特色ある音楽教育が活発に行われています。そんな杉三小で音楽を担当している保坂先生をご紹介します。

### 杉三小の豊かな音楽教育

杉三小では月に二回、全校で音楽朝会を行っています。子どもたちみんなによる「おはようございまーす。」という高音の豊かな響きのあるあいさつで音楽朝会が始まります。

保坂先生は、子どもたちが美しい高音の発声を自然と身につけてほしいという思いから、このあいさつを朝会に取り入れ、実施しています。

杉三小の音楽朝会では、各学年による発表をはじめ、全校合唱や全校合奏、手話の歌やリズム遊び等様々な活動を行っています。5月には4年生がお琴とリコーダーの合奏を披露しました。全校児童や保護者・地域の方など大勢の人に鑑賞してもらえるとということで、子どもたちの士気も自ずと高まります。

互いに演奏を発表、鑑賞することで上級生の美しいハーモニーに感動を覚えたり、下級生のがんばる姿に刺激されたりと、授業だけでは体験できない音楽教育が、学校ぐるみで展開されています。



いつも明るい保坂先生



### 自分が楽しい=みんなも楽しい

保坂先生は、幼少の頃から演奏しているピアノの他にも、たくさんの楽器に挑戦し、積極的に授業の中に取り入れています。ラテン音楽やドラムセットを使った授業は、子どもたちにも大変好評でした。

お琴や和太鼓なども自ら勉強し、習得したそうです。「今度は三味線をやってみようと思っているんです。」と先生は笑顔で話してくれました。

保坂先生のモットーは、「自分が楽しいと感じたものを、子どもたちに自信を持って薦める」ということです。先生自らが経験した音楽の楽しさが、実感を通して子どもたちに伝わっているのです。

授業以外でも、課外活動の一環として合唱団の指導も行うなど、常に前向きな保坂先生。

「音楽って楽しい。」という子どもたちの気持ちを、持ち前の明るさで育てています。

### 先生まだまだ募集!

皆さんの学校の先生を紹介してください。部活動などで生徒といっしょにがんばっている先生、工夫を凝らした授業を展開している先生など…。自薦、他薦は問いません。「わたしたちの先生自慢」で先生のすてきなところを自慢してみませんか?

問い合わせ先・送付先：庶務課

## パソコンを使った楽しい授業をめざして

### 夏休み、先生もがんばりました!

杉並区教育委員会は夏休みの期間中に、パソコンをもっと授業に活用していくための実践研修を行いました。この研修は、インテル株式会社の協力を得て、実現しました。

受講された先生の数は約300名。区内4会場で1日6時間、6日間におよぶパソコンを使った研修が展開されました。

先生たちはインターネット、電子百科事典を用いた情報収集やホームページ、単元プランの作成などを研修の中で体験しました。

「2学期に行うポスター作りに活用したい。」「子どもたちといっしょにホームページを作れたら…。」と具体的に研修内容の活用をイメージしながら受講している先生たち。

児童・生徒の立場にたって作成したプレゼンテーションの発表を通して、活発に意見交換するなど研修に前向きに取り組む姿が印象的



した。

今後先生たちは研修で身につけたパソコンの技術を授業に反映させて、さらに豊かな教育活動を展開していきます。



「情報教育教員支援プログラム」のテキスト

### 教育委員会の動き 平成14年6月～8月

#### 【教育委員会開催状況】

- 定例会 5回
- 臨時会 0回
- 議案 5件(全議案可決)
- 報告事項 23件
- 学校訪問 2回  
(済美小学校、和田中学校)

#### 【主な案件】

- は審議・は報告事項
- 杉並区教育委員会職務権限規程の一部を改正する規程
- 心身障害学級・養護学校教科用図書採択について

- 学校基本調査速報(杉並区立学校版)
- 杉並区幼稚園・保育園の連携のあり方を考える研究会「中間報告」について
- 区立学校適正規模検討委員会の設置について
- 「インターネット図書予約システム」について
- 平成14年度研究奨励事業について